

令和 7 年度第 1 回羽島市空家等対策推進協議会 会議要旨

日 時	令和 7 月 5 月 2 8 日（水） 午前 1 0 時 0 0 分から午前 1 1 時 1 5 分まで	
場 所	羽島市役所 4 階 4 0 6 会議室	
出 席 者	＜委員長＞ (敬称略) 宅地建物取引士 名和 泰典 ＜委員＞ 弁護士 竹中 雅史 一級建築士 高橋 邦一 民生委員 大野 仁作 社会福祉士 豊田 真弓 一級建築士及び羽島市都市計画課建築管理室長 野村 匡央 (兼) 旧庁舎解体整備室長 羽島市生活環境部長 加藤 光彦 ＜事務局＞ 生活安全課長 鈴木 巨祥 生活安全課 主幹 中島 丈誠 生活安全課 主任 古賀 健太	
要 旨	1 開会 2 委員紹介及び委員委嘱について 3 委員長選出 4 委員長挨拶 5 協議 議題 1 号 ・「わが家の終活セミナー」及び「個別相談会」について 【意見・質疑】 (委員長) 去年のセミナーはどうだったか。 (委員) セミナーに参加したが、初心者でも理解しやすい内容で分かりやすかった。 (委員) 高齢者でも意識が高い方は参加されると思うが、それ以外についてどのように呼びかけていくか。	

(委員長)

参加できない方に我々の意思をどのように届けるか、繋げるかを考えるべきだが、難しい。基本的に最後は個別相談に来てもらえないと我々も解決ができない。

(委員)

今後空き家になりそうなところに住んでいる方へ何らかの方法で呼べるような方法を考えていく必要がある。

(委員長)

高齢者をお世話する方に、将来、空き家になるということを意識を持っていただくだけでもいいのかなと思う。

(委員)

包括支援センターの中で高齢の方をご訪問させていただく機会がある。

(委員長)

そういったご訪問した機会に我々に繋いでもらえるといいがどうだろうか。それかその方にセミナーに参加してもらって当事者に伝えていただけないか。

(事務局)

セミナーや個別相談は幅広く周知している。ご訪問時に窓口的に繋いでいただくことによって解決になるかもしれない。

(委員)

たくさん相談を受けているが、高齢者の方とお子さんとのコミュニケーションが取れていない。セミナーをコミュニケーションのきっかけとして参加してくれるといいが難しい。

(委員長)

高齢の方をお世話している方に繋げないか。

(委員)

包括では、高齢の方と繋がりがあるのでセミナーや個別相談ができることを伝えて知ってもらうことができたらいと思う。

(委員長)

何とかして繋げて次の代へ繋げないとだめだと思う。

(委員)

繋ぐというよりかは子どもたちが困らないようにと思う。

(委員長)

もちろん、とにかく包括と何か繋げていけたらと思う。内容については、相続の
関係と二回目は活用ということでよいか。

(事務局)

アンケートでも多かったので、もう一年ぐらいは昨年同様の内容でやってもいい
と考えている。

(委員長)

二回目の活用については、反応はどうだったか。

(委員)

人も集まり、ある程度は理解していただけたと思う。時間は足りなかった。

(事務局)

時間については、こちらが要望した内容が多かった。

(委員)

項目を絞ってやるとよい。

(委員)

たくさんの方に来ていただく方が大事だと思うので告知の仕方、広告の言葉、呼
びかけ方を考えて作る必要がある。

(事務局)

検討したいと思う。

(委員長)

では、昨年通りでやっていきたいと思う。

6 報告

報題1号

特定空家等の状況について

<個別案件の報告につき非公開>

7 閉会